

浅草警察署管内

台東区浅草4丁目47番11号
電話：3871-0110

1. 浅草警察署管内の刑法犯の認知状況及び傾向と防犯対策

平成17年の浅草警察での全刑法犯認知件数は、1,787件で昨年より215件減少しました。罪種別では、「空き巣」などの侵入盗が53件で、昨年より53件減少し、自転車盗等の乗り物盗についても昨年より94件減少しましたが、「ひったくり」については、39件発生し昨年より倍増しています。被害に遭わないための防犯対策を紹介するので、防犯意識を高めてください。

【空き巣】などの侵入手口

ドロボウの侵入手口で最も多いのがガラス破り42%、ドアこじ開け18%、錠破り・合鍵4%、サムターン回し1%となっていますが、玄関などの鍵を掛けないまま外出したため侵入されたものが23%を占めています。

《防犯対策》

ゴミ捨てや、近所に出かける場合でも、必ず鍵を掛ける習慣をつけましょう。近所に普段見かけない人がいたり、家の中をのぞき込んでいるなど不審な人物を見かけたら、必ず声をかけることが犯罪者を遠ざけることにもなります。玄関には、鍵を2個、窓には補助錠や防犯フィルムを貼るなど工夫して、被害に遭わないよう注意しましょう。

【ひったくり】の発生時間帯

管内での発生時間帯をみると、午前0時から午前3時ごろまでの間の被害が最も多く、次に午後8時から午後11時までの間が多く発生しています。その被害者の大半が女性で、その多くは、自転車の前カゴに手提げバッグ等を入れて帰宅途中に「ひったくり」の被害に遭っています。

《防犯対策》

自転車を利用するときは、「ひったくり防止ネット、カバー」等を使用しましょう。自転車の前カゴの中には、貴重品を入れないよう注意しましょう。ハンドバッグやカバンを持つときは、建物側に持つようにしましょう。夜間帰宅するときは、できるだけ明るい場所や大きな通りを選んで帰宅しましょう。後方から人やバイクが近づいてきた場合は、後ろを振り返り警戒しましょう。

2. 暴力団関係

管内には暴力団事務所が40ヶ所あり、平成17年中における暴力団員の検挙は、恐喝や逮捕監禁並びに殺人未遂等の罪で143名を逮捕しています。昨年12月の区議会において「暴力団追放都市宣言」がなされました。

暴力団三ない運動 ・暴力団を恐れない ・暴力団に金を出さない ・暴力団を利用しない
暴力団絡みの苦情や相談事がありましたら、警察に相談してください。

3. 主な検挙事例

5月10日 浅草寺境内における偽造通貨を使用した被疑者を検挙しました。	10月2日 強盗未遂の被疑者を検挙しました。
5月20日 催涙スプレーを使用した強盗事件の被疑者を検挙しました。	10月18日 事務所荒しの被疑者を検挙しました。
6月16日 浅草1～2丁目発生した連続不審火の被疑者を検挙しました。	11月7日 刃物使用による殺人未遂の被疑者を検挙しました。
7月30日 暴力団員による逮捕監禁の被疑者を検挙しました。	11月16日 刃物使用による殺人の被疑者を検挙しました。
8月8日 強制わいせつ事件の被疑者を検挙しました。	12月27日 空き巣狙いの被疑者を検挙しました。

4. 犯罪抑止に向けての取組み

地域安全情報の発信・被害発生時におけるFネットによるリアルタイムな情報発信・メールマガジン登録者に対する犯罪情報の発信
金融機関等に対する「オレオレ詐欺被害防止対策」と声かけの協力依頼
金融機関、コンビニエンスストア等に対する強盗模擬訓練の実施
ひったくり防止模擬訓練の実施、防犯ネット配布と防犯チラシ配布による防犯広報の実施
出前防犯診断の実施～希望により鍵の専門業者を同道した現場防犯診断を実施



5. 地域との防犯活動

合同防犯パトロールの実施 犯罪抑止指定10町会において午後6時から午後7時までの間、町会員、防犯協会役員と警察が一体となった合同防犯パトロールを実施しました。

「ひったくり防止」活動として、発生地区の町会役員による防犯ネットの取付けによる防犯意識の高揚と啓発活動を実施しました。

6. 地域住民への連絡事項

パソコン、携帯電話を利用されている方でメールアドレスをお持ちの方に、各種犯罪情報を提供しています。希望により自宅等の防犯診断を鍵専門業者と行っております。防犯器具の相談も受けています。(連絡先：浅草警察署 3871-0110)

蔵前警察署管内

台東区蔵前1丁目3番24号
電話：3864-0110

1. 蔵前警察署管内の刑法犯認知・検挙状況

平成17年、蔵前警察署での全刑法犯の認知件数は、941件で平成16年より100件減少しました。罪種別では、平成16年と比較して「空き巣」などの侵入盗、「自販機ねらい」「自転車盗」などの街頭犯罪が減少しましたが「ひったくり」「車上ねらい」が増加しました。

検挙件数は、363件、検挙率38.6%、平成16年と比較して11.5%増加しました。これも地域住民の方々が地域ごとに実施した防犯パトロールのお陰です。ご協力ありがとうございました。今年もよろしくお願ひします。

主な検挙事例～10月30日(日)地域住人の「不審者情報」から連続発生していた侵入口をバールで破壊する手口の「窃盗犯人」を検挙しました。

2. 今年の指定重点犯罪について

今年は、昨年末まで指定重点犯罪(侵入窃盗・ひったくり・強盗・性犯罪)に「振り込め詐欺」「車上ねらい」が加わりました。「振り込め詐欺」は、昨年、都内において2,908件発生し、被害総額約52億円と増加し、本年に入ってもその傾向は変わりません。

被害に遭わないよう「お金を振り込め」や「おかしいな」と感じた電話には、被害防止三原則「あわてない」「すぐにお金を振り込まない」「事実を確認する」を守ってください。

3. ちょっとした気の緩みで大きな被害を受けています。

- ・店番中、席をはずした際に「貴重品が盗難」
- ・マンション住民がゴミを捨てに行った際に、玄関に置いた「バッグ」が盗難
- ・車内に貴重品を置いたまま駐車中、衣類置き場から「財布」が盗難
- ・自転車の前カゴに置き忘れた「財布」が盗難
- ・鍵をかけずに置いた「自転車」が盗難

以上は、一人ひとりがもう少し防犯意識を持っていたら被害に遭わずに済んだ事案です。犯罪者は、あなたの油断を狙っています。十分気をつけてください。

「車上ねらい」防止対策は、

**貴重品は、車内に放置しない。
短時間駐車でも必ずドアロック
深夜に一時駐車は、明るい場所を選ぶ**

必ず守ってください。

4. 地域での防犯活動紹介

蔵前母の会防犯パトロール隊は、井口会長以下24名で少年の非行防止活動・有害環境浄化活動・地域防犯活動・交通安全教育普及活動等を行っています。なかでも、結成以来実施しているのが「防犯広報」です。これは月2回(10日、20日)午後7時から午後8時までの間、3名編成で蔵前警察署員と一緒に、ひったくり・空き巣・事務所あらし・車上ねらい等の防犯広報を行い、被害防止と地域住民の防犯意識高揚に努めています。

現在は、子どもの被害防止活動として小学校低学年の下校時、各学校周辺で子どもの安全を守るために警戒活動を行っています。

5. 地域住民の皆さんへ

防犯講習会・座談会や各種防犯訓練を実施しています。マンション、一戸建て住宅、事務所等の防犯診断を専門業者と行っています。パソコン所有者でメールアドレスをお持ちの方に各種犯罪情報を提供しています。上記を希望される方は、蔵前警察署 防犯係までご連絡ください。(連絡先：3864-0110)



平成16年度 台東区「安心・安全まちづくり」標語コンクール受賞作品

一般の部 優秀賞

人の輪が安全つくる この街で 新井 邦勝(台東区)

小・中学生の部 優秀賞

犯罪を許すな させるな 見逃すな 田島 宗鷹(浅草中)